

脳血管を守るう



脳卒中予防啓発のための
シンボルマーク
(日本脳卒中協会)

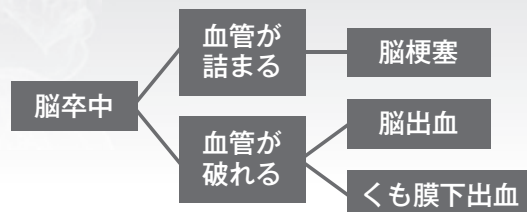
脳卒中(脳血管疾患)とは・・・

脳の血管が詰まったり破れたりして、その先の脳細胞に血液が届かなくなり、脳の一部分が死んでしまう病気の総称です。

脳卒中は、高齢者の病気と思われがちですが、若い人でも発症の可能性があります、特に40歳以上は発症率も高くなります。

近年の医療の進歩などにより、死亡者は減少していますが、後遺症が残る場合も多く、介護が必要となる原因の中では上位となっています。

健康でいきいきとした暮らしを実現するために、脳血管を健康に保つことがとても大切です。



▶突然このような症状が現れたら・・・

脳卒中かもしれません。
すぐに救急車を呼びましょう!

▶すぐに良くなったから大丈夫!?

突然症状が出現し、数分から1時間で消えることがあります。それは、TIA(一過性脳虚血発作)という脳卒中の前触れかもしれません。**放置せず、すぐに専門医(神経内科、脳神経外科など)を受診してください。**TIAから数週間脳梗塞になる危険性が高いのです。

迅速な対応・迅速な治療が、
あなたとあなたの家族の
未来を守ります



脳卒中の予防

脳卒中は、早期発見・早期治療が大切ですが、発症の予防に努めることも大切です。

<発症の危険が高まる要因>

高血圧、糖尿病、不整脈などの生活習慣病
喫煙、過度の飲酒、運動不足、肥満
塩分や脂肪分の摂り過ぎ など

これらの生活習慣病を放置せずに治療するとともに、生活習慣を見直しましょう。

毎年5月25日～5月31日は 脳卒中週間です

「脳卒中は冬に多い」というイメージがあるかもしれませんが、脳卒中の大部分を占める脳梗塞の発症は春に少なく6～8月に増加することが明らかになっています。
(日本脳卒中協会)